

## 五十嵐歯科口腔外科

北海道札幌市西区発寒 13 条  
3 丁目 7-26 パサージュ発寒 1 階  
URL : <http://www.50-oral.com>

院長 **五十嵐 友彦**

×

ゲスト **大沢 樹生**

(2020 年 9 月取材)



## 患者さんが安心して通院できるよう—— 地域医療の一翼を担っていく

——まずは、五十嵐院長が歯科医師の道を歩まれたきっかけから伺います。

私は、幼少期から虫歯がしやすい体質だったのですが、いわゆる「歯医者恐怖症」で、歯科医院に行くことを苦手にしていました。世間には、この悩みを抱えている方が多くいらっしゃるんですね。それならば、同じ悩みを持つ方々でも安心して治療を受けられるようにしたいと思い、歯科医師を目指すようになったんです。

——自分がそうだから気持ち分かる？と。歯科医師として、どんなキャリアを？

地元の『北海道医療大学歯学部』を卒業し、『札幌医科大学大学院医学研究科博士課程』に進学。その大学には計 13 年と長く在籍し、研究をはじめ最後には授業の講師も務めさせていただきました。そして、元々この場所にあった、地域に長く根ざして活躍されていたクリニックの院長とご縁がありまして、引き継がせていただくことになり、2020 年 1 月に新しく当院を開院しました。

——元々独立への想いはありましたか。

人は誰しも最終的には死を迎えることになります。その運命の中で、自分が医療従事者としてどのように貢献していこうかと考えた時に、大学病院での最先端の医療のみならず、終末期を迎える方々にも広く携わりたいという考えが大きくなっていきました。それであれば地域医療に根ざし、最先端の医療から終末期を迎えた患者さんの口腔機能の維持までを担うことが可能になる医療機関をつくりたいと考え、独立開業をするに至りました。

——実際に開業されていかがですか。

開業してまもなく新型コロナウイルス感染症が拡大し、現在に至りますが、歯科口腔外科治療をする上で感染対策は最重要ということがモットーですので、今回のコロナ禍においても様々な対策で対応しております。当院は世界最高レベルの滅菌システムを導入していますから、感染症に対しても治療に対しても、皆様にはご安心いただきたいですね。そしてこれからも地域に根差し、皆様の健康に貢献したいです。